

リリース 17.1 変更点

Total Commander

ID タグエディターから開いたときのセンタリングの処理の改善

タグ値

タグ値を "" に設定すると、削除されるファイルプロパティ>>オーディオプロパティタブ-
選択した複数のファイルに対して最初のファイルから当ファイルのプロパティ>> ID タグ、
「...」 ボタンを次の行の上に置かれているファイルのプロパティ>> ID タグアート説明は
短縮シンボリックリンクされたファイルのリストファイルサイズ

バッチコンバーター

[origdrive] を使用している場合、命名を ¥[origpath] ¥[origfilename] その後、ファイル名は
変更されません（以前は、ファイル名「abc.flac」は「abc.flac」に変更され、既存のファイ
ルは上書きされませんでした

新しい名前付け値[マルチタグ]

複数のアルバムアーティストがいて、ファイル名にリスト全体が必要な場合、[マルチタグ]
アルバムアーティスト [] を使用でき、Artist1 を返します。Artist2

Replaygain

最大ゲイン値を設定する高度なページオプション。以前は非常に静かなトラックにトラッ
クゲインまたはアルバムゲインが書き込まれませんでした

CD リッパ

グラフィックのオーバーラップの改善

PerfectMETA とブレンドするときに CDText、UPC、ISRC から読み取った場合のメタデ
ータのよりスマートな処理

新しいオプション

オプション>>アクティブなプロバイダー>>「メタデータがない場合の手動メタデータ検索」
はデフォルトでオンとなり Windows サーバーにリッピングする場合はデフォルトで組み込
み手動メタデータ検索は musicbrainz からアルバムアートを
読み取りますアーティストをさまざまなアーティスト CD のディスコからよりよく読み取
ります

コーデック

CUESHEET および EACLOG タグのタグでキャリッジリターンを保持

Wavpack を 5.3.0 に

m4a に更新 FDK を 2.0.1 に

Ogg Vorbis を (Ogg v1.3.4 Vorbis V1.3.6)

m4a デコーダ更新：シンボリックリンクファイルで動作

DSD タグライター、Unicode

ID3v2 タグで保存 TBPM が BPM にマップされるようになりました

バグ修正

スクリプトが機能しなかった特定の一時フォルダーを使用するオプションが使用された場合、一時ファイルがこのフォルダー (%tmp%内) に保存されず、エンコーディングプロセスの後半で失敗すると Flac が「1.3.3 beta」と表示されていたが、実際には 1.3.3Music Converter だったのに、終了すると古い「Writing ID Tags」メッセージが CPU エンコーダーラインの下に残るマルチエンコーダーが音楽コンバーターの動的命名で常に正しく機能していなかった

CD リッパーが.dsf ファイルに直接リッピングできる、temp ._ファイルに書き込むオプションがオンの場合 64 ビット Windows に 32 ビット dBpoweramp がインストールされている場合、許可されない

リストされた ID タグの編集 CD リッパートラックは、手動メタデータレビューページから削除された場合でも作曲家を表示する可能性があります

手動 Discogs リリースルックアップが失敗する可能性があります

[置換]と[分割]は、<comma_>ではなく<comma>を使用するようになりました。空の文字列を置換用に設定し、スペースを何も置換しないようにします：[replace] ,, [artist] []

Flac と m4a のタグ付けは、トラック番号がないタグを書き込むことができますが、トラックカウントのバッチコンバーターの「リセット」ボタンのみがクラッシュプログラムブリエンファシスが常に機能するとは限らなかった

DSP Move Destination File On Error がデフォルトの名前付けで正しく機能しない (ドライブが見つからない)